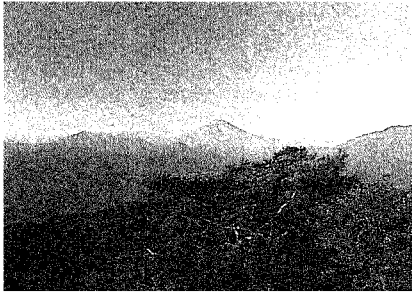
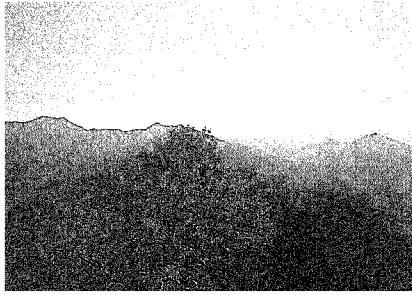


南方向



富士山



三ツ峠

西方向



雁ガ腹摺山

今が旬

山々は絶景の宝庫・・・

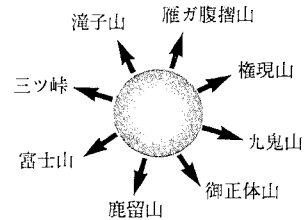


このすばらしい景色をあなたの目に
焼き付けてみませんか

市の中心部が一望でき、その向こうには富士山がひととき美しい姿を見せてくれます。また、御坂山塊の山々、南アルプス、大菩薩山系の山々も望むことができます。最近では東京方面からの登山客が多く、土曜・日曜ともなると頂上は大勢の登山者でにぎわいます。

360度
パノラマ

「高川山」



市内の山で比較的気軽に登れるのがこの高川山です。登山口は、小形山の古宿からと尾県郷土資料館脇からのルートがあります。古宿から登る場合は禾生駅、資料館脇からは田野倉駅で降ります。どちらのルートも歩いて二時間から二時間三十分とハイキング気分です。その最大の要因は、高い山です。その最大の要因は、低山なのに三百六十度の大展望に恵まれていることです。



山が大好きなご夫婦
(立川市在住)

たまたま高川山に登ってこられた、二組のご夫婦にお話をうかがいました。



初めて高川山に登ったご夫婦
(多摩ニュータウン在住)

今朝、四時三十分ごろ家を出て、郷土資料館脇のルートから登ってきたというご夫婦。ご主人は、かれこれ四十年近く登山歴を持ち、夏場には標高三千メートル級の山々に登るとのことです。そのためのトレーニングを兼ね、春先やこの時期に高川山に登るそうです。この日は、富士山に初雪が降ったというニュースを聞いたので見に来たそうですが、あいにく雲に覆われ確認できませんでした。非常に山好きのようで、一体が丈夫であるかぎり、山登りを続けていきたいとおっしゃっていました。

「最近、中高年の方々の登山が多く見受けられるが、昔、登山経験があったからとはいえ、自分の力を過信せず十分注意して登ることが必要」とおっしゃるご主人。登山の魅力は頂上についていたときのすばらしい眺望だそうで、三百六十度の視野を望めるこの高川山にはさぞかし満足されたことと思います。「山に関して望まれることは？」と尋ねると「とにかく、誰もが安心して登れるように簡単な道標だけでなく常に整備し続けてもらいたいことと、登山者は必ずゴミを持ち帰って自然を大事にしてもらいたい」と、登ってきた疲れも見せずに淡々と語ってくれました。